

◇ 学校評価の結果を踏まえた23年度の取り組み

1 夢や希望をはぐくむ教育活動

- 学校創立40周年記念のスローガン「未来へつなごう 大瀬のこころ」を引き継ぎ、学校と家庭、地域が一体となって教育活動を進め、地域や保護者から信頼される学校づくりに取り組む。
- 平成18年に開設した「大瀬ものづくり講座」の趣旨を引き継ぎ、大瀬冬のホタル制作や命の授業、浜松東高校との交流活動など、地域人材を積極的に活用した魅力ある授業を創造する。
- 「大瀬たんけん隊」や「大瀬自然調査隊」など、生活科や総合的な学習の時間を通して、地域の自然や歴史、資源を生かした体験活動を多く取り入れる。
- 運動場での自由遊びや自主的な委員会活動や集会を行う業間を「ふれあいタイム」とする。また、運動を通して子どもと教師が一緒になってキラキラ光る汗をかく「キラキラタイム（期間限定）」を設置する。
- 学校ホームページ・ブログ、学校だよりを通して、広く教育活動を紹介する。

2 ③もいやりのある子（こころ部）

- あいさつ運動を通して、地域や保護者とともに「あいさつが響きあう大瀬小学校」を目指す。
- 子どもたちの心を耕す道徳の授業を目指す。また、参観会で道徳の授業を公開する。
- 教師と子どもたちとのふれあいを大切にする。
- 委員会活動を通して、子どもが中心になってよりよい学校にしていくための取り組みをする。
- みんなの気持ちを聞きながら、よい学級にするためのまとめ役として、2年生以上で、学期ごとに男女各1人の「学級代表」を選出する。
- 4年「自然教室」（1泊）5年「野外活動」（2泊）6年「修学旅行」（2泊）の3か年の体験学習を位置づけ、その充実を目指す。
- 4年生で「二分の一成人式」を実施し、お世話になった方々への感謝の気持ちを育てるとともに、将来に向けた夢や希望をいさぐ。
- 4年生と6年生で助産婦さんによる「いのちの講座」を実施し、自己肯定感を高め、自他のいのちを大切にできる子を育てる。
- 発達支援教室「ゆうゆうルーム」を活用し、ニーズに応じた子ども支援を目指す。

3 ③わりまでやりぬく子（からだ部）

- 子どもたちが運動に親しんだり、記録に挑戦したりする「キラキラタイム」の充実を目指す。
- 一人一人がめあてをもって取り組めるよう、健康安全・体育的行事の運営を工夫する。
- 体格測定や心の日（16日）、保健週間等を生かし、子どもたちの健康意識を高める。
- 6月に5年生を対象に、全国体力テストを実施する。
- 安全に運動や活動をするために、校内環境の整備を推進する。
- 家庭と連携し、基本的な生活習慣づくり、健康なからだづくりを進める。

4 ③いっばいかんがえる子（あたま部）

- 「言葉を大切にし、考えを深め広げる授業」を目指し、国語科の授業を中心に、発表や話し合いを通して子ども一人一人の考えが深まっていく授業づくりを進める。
- 子どもたちの表現力を高めるために、毎週金曜日の朝活動に発声に重点を置いた「こだまタイム」を位置づけ、詩の音読や群読、暗唱などの活動を行う。
- 読書習慣を育てる手立てとして、「大瀬小必読図書」を選定し、読書カードの活用を進める。
- 基礎基本の定着を図るため、毎月、各学年の発達段階を踏まえたチャレンジテストを実施する。
- チャレンジテストの結果、基礎基本の定着が不十分な児童を対象に、「大瀬寺子屋（補充学習）」を週2回（火・木）実施する。